

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局；大代地区公民館 ☎ 364-8442

花一ぱい運動

選挙選挙でわいわい言っている中にいつの間にか「さざんか」の節は終り、桜の花はあらかた散ってしまいました。何十日振り庭をじっくり眺めていた今朝だが、まるで突然様変わりでもしたような新鮮さをおぼえます。土堤には土筆が一ぱい、公園では椿が満開そして庭の片隅で水仙がひっそり咲いています。まるで何カ月もの海外旅行から帰りでもしたような「ウワー」という感じですが、ともあれ選挙は終り選ばれた人達が、これから我が郷土の施策を立派に導いて行ってくれる訳ですから大いに期待しています。

いづれにしても六年度は終り、さあ七年度だとなるのですが、後まわしにしていた役員会或は部会と総会に向けて大忙しとなる訳です。特に環境美化部の課題として、第二号花壇の場所或は設置の仕方等みんなで考えて行きたいと思います。確かに北の方からの方々が南まで朝早くから来られるのは大変でしょうから、出来るなら川の北側に二号花壇を設置したいと思っています。その方法として、場所がなければ道の端或は塀に引っ掛けるとか、何か良いアイデアはないものでしょうか。橋工事の間もなく終りそうですし、中通りの方でもやり方によっては何とか出来そうな気がします。

いつかニュージラランドに行った時はそんな立派とは見えませんでした

あいさつは心のふれあい

あいさつしましよ

出あつた人と

あいさつしましよ

だが、道傍に面した方を庭にしてきれいな花を植えていました。あ、うう家の建て方も良いと思いましたが。そういえば、星繁子さんが、道端の空地を利用して、きれいに花壇にしています。だが、こんな工夫もしてみたいようです。

いづれにしても、きれいな花を見て悪いことを考える人はいないでしょう。余りにもよからぬ事件が次々に起きています。私達の処にそういうことのないように花一ぱい運動に精々努力していただませんか。

大代コミュニティ

会長 跡辺三夫

花咲爺

桜の花が咲き、新学期、新年度など新たなくぎりの四月である。学校では新入生、会社では新入社員が新しい生活を始める芽吹の季節であると同時に新たな人生の始まりの季節である。

そこで、ふと御伽話「花咲爺」を思い出した。あのクライマックスで老人が「枯れ木」に花を咲かせるシーンである。典型的な善人面の好々爺が軽やかな手つきであたり四方に灰を撒く、我欲にまみれない無垢な心の象徴である。

この花咲爺も、やはり作者放棄自身の晩年の肖像とたぶん重なるものがあると思う。なお、この花咲爺とよく似た物語は、お隣の中国や韓国にもある。

と聞いたことを思い出し、良いお花見をしようと思う。

大代東 本郷新治

追憶

当大代地区コミュニティ推進協議会副会長、環境美化部長として、また大代連合婦人会長として地域発展のため活躍されました東海林芳子さんが、去る四月五日黄泉の旅路に旅立たれました。

東海林さんは、大代コミュニティ推進のため、美しい郷土をつくる運動の一環として実践してきた花一ぱい運動に推進委員の先頭に立って街路花壇の整備に取り組み、明るい街づくりに尽力されました。また、毎月発行の広報紙「ふれあい」には数多く投稿され、特に昨年四月多賀城市婦人会連合会の皇居奉仕団に参加された紀行文は、読む人に感銘を与えました。

ご夫婦で参加された戦友会等の道中における道中句等文筆にも長じた方でした。

大代地区としては、誠に惜しい方を失いました。

ここに故人生前に記された句の一部を紹介して、ご冥福をお祈りいたします。

一番茶機械で刈り取る手ぎわよさ
二条城皇居と同じお堀静かさ
春霞雪の富士山見えかくれ

名所には学生の群れにぎやかに
清水寺紅葉の大木芽ぶきあざやか

広報部 佐藤甚六



〔短歌〕

阿部うめよ
去年の春皇居奉仕を共にせし友の
葬儀に涙あふるる

本郷貞子
かわりもなく華やける地下街を
抜け出て親し春の陽射しの

跡辺文江
紅の芍薬の芽は地のまなこ枯れ葉
のかけにおおず眼く

奈良美千子
よく似合う赤き前だれかけて立つ
地蔵小さく春の陽を浴む

御祝儀

お見舞いは

三千元を限度にお返し物

はしないようにお互い

気を配りましよう

タウソウウオツチンダ しませんか

いつも見慣れて知っているつもりでも良く観てみると違ったものが見えるものですが、先日、花祭りで賑わう塩竈神社に詣でてきました。塩竈様の境内には、神前には不似合いな、鉄の燈籠があり「文治の燈籠」の解説書が掲げられています。古代、塩竈神社の参道の入り口には寺があり、その門前に奉納されていた対の燈籠の片割れとのことで、藤原泰衡の三男「和泉三郎」が文治三年に奉納した由が書き記してあります。本来は国宝となっても良いくらいの価値があるそうですが、残念ながら笠の部分の散逸していたので近年作り直し、それで指定されていないのだそうです。

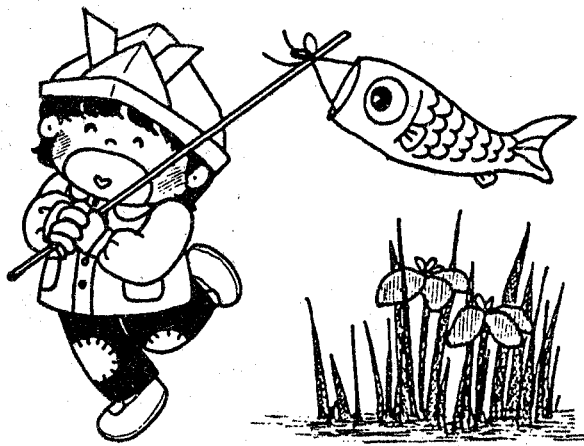
和泉三郎は、一昨年は大河ドラマで注目されましたが、父清衡の遺言を守り源義経をかばって殉死した人物です。後年芭蕉はこの燈籠の前に感動して落涙したそうで、奥の細道にも「神前に古き宝燈あり。…五百年のおもかげ、今日の前に浮かびてそぞろ珍し。かれは勇義忠孝の士なり。…」と記しています。

しかし、花祭りで賑わう人々の関心は、はなはだ薄いようで気付かずに通り過ぎていました。三郎と多賀城の関わりは深く、藤原三代の初代清衡の誕

生の地であり、また、三郎の領地であったとも伝えられています。

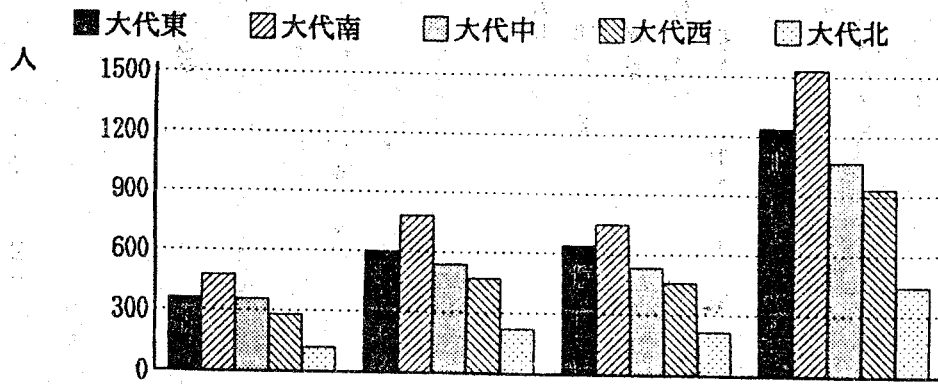
文治三年は、平泉に義経が潜んでいることが鎌倉方の知るところとなった年であり、三代藤原泰衡が病で急逝した年でもあります。和泉三郎は奥州一の宮塩竈様に何を折ったのでしょうか。そんなことを思いながら、おさんご茶屋のだんごを食べるのもタウソウウオツチンダの楽しみ方の一つではないでしょうか。

大代南 跡辺孝志



大代地区人口統計表

平成7年3月31日現在



	世帯数	男	女	男女計
大代東	362	604	638	1242
大代南	477	781	752	1533
大代中	357	538	535	1073
大代西	279	471	463	934
大代北	123	225	220	445

大代地区住民総数 5,227人

—募集—

大代剣道教室

- ◆練習日時
毎週金曜日
午後5時から7時まで
- ◆会場
大代地区公民館体育室
- ◆入会金
なし
- ◆月謝
2,500円
- ◆入会申し込み・問い合わせ
桜井 367-1412
菊田 367-1191
菊田 366-3088